

警告

修理分解はしない
●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理改造は行わないでください。
発火・感電したり、異常作動してけがをするおそれがあります。

水・洗剤等の液体についたり、かけたりしない
●水・洗剤等の液体についたりかけたりしないでください。
ショート・感電や火災のおそれがあります。

交流100V以外では使用しないこと
●火災の原因になります。

お手入れは「切」にしてから
●お手入れの際は、必ず電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを切って行ってください。（分電盤のブレーカーを切る場合は、他機器の電源も切れるおそれがあります。）ぬれた手で触らないでください。
感電や、けがのおそれがあります。

ガスもれのときはスイッチを入れない
●ガスもれの時は換気扇スイッチを入切しないでください。
ガス爆発の原因となります。

レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との距離を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う必要があります。
※詳しくは、所轄の消防署へ確認ください。

注意

調理中や運転中に部品をはずさない
●調理中や運転中に、バーリングフィルター及び周辺の部品等をはずそうとしないでください。
落下によりけがをするおそれがあります。

部品を扱うときは厚手の手袋使用
●部品を取りはずすときや、洗うときは必ず厚手の手袋を着用してください。
金属端面などだけかをするおそれがあります。

運転中は指や物を入れない
●運転中は危険ですから、レンジフード本体の中に指や物を入れないでください。
けがのおそれがあります。

レンジフードにのらない
●レンジフードにのったり、ぶら下がることはやめてください。
落下によりけがをするおそれがあります。

部品の取り付けは確実に
●部品の取り付けは確実に行ってください。
落下によりけがをするおそれがあります。

電源プラグは確実に差し込む
●電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
火災の原因になります。

電源コードを傷めない
●電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かないでください。
電源コードが断線し、火災の原因になります。

電源プラグのお手入れを
●定期的に電源プラグを抜き、電源プラグのほり等を除去してください。
湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

お取付前の注意事項

(1)部屋全体の換気には他の換気扇（ダクト用換気扇、または一般用換気扇）を併用してください。（レンジフードは局所換気専用です）。

(2)取付・設置の際は厚手の手袋を使用してください。

(3)取付高さは標準80cmです。（但し、消防法により規制される場合がありますのでご注意ください。）

製品は調理器具の真上に取付け、取付高さは調理器具より80cm（※）の高さに取付けます。高すぎると排気効果が低下し、低すぎると台所での仕事のさまたげ

図1

なったり、高熱による故障の原因になります。（図1）

(4)湯沸器の上部は高温になるので、湯沸器の真上には取付けしないでください。（図1）

(5)ダクト排気するときはダクト抵抗の確認が必要です。

(6)空気の取入口を設けてください。

密閉された部屋で使用する場合は、空気取入口を設けます。空気取入口の位置はレンジフードと反対側に設け、大きさは排気口の大きさ（φ156mm）以上にしてください。（図2）

(7)取付面の強度をよく調べて取付けてください。

壁材が薄く弱いと振動音が発生することがあります。

(8)電源コードは傷付けないよう配線してください。

(9)フード周辺のレイアウトは、各市町村の条例に従ってください。

(10)雨水の侵入や結露水の逆流防止の為、ダクト配管は屋外側に向けて下り勾配を設けてください（目安：1/100～1/50程度）。

図2

取付け方法

1 取付位置を決める

調理器具の真上 80cm 位の所に取付けてください。

2 壁に穴をあけダクトを取付ける

取付位置及び排気口位置を決め、壁にφ160程度の穴をあけてφ150パイプ（銅板管）を埋め込みパイプ周囲をモルタル等で仕上げてください。

3 付属品を確認する

共通部品

ねじセット 排気口具（1ヶ） 整流板（1ヶ）

タッピングねじ 4×50（6本）

トラスタッピンねじ 4×10（4本）

電動シャッター（2ヶ） 上給気取付脚（2ヶ） トラスタッピンねじ 4×10（8本）

排気用×1 給気用×1

同時給排仕様の場合

電動シャッター（2ヶ） 上給気取付脚（2ヶ） トラスタッピンねじ 4×10（8本）

排気用×1 給気用×1

4 取付け前の準備をする

4-1 バーリングフィルターをはずす

バーリングフィルターをはずしてください。バーリングフィルターの取っ手をつかんで奥に押しながら下げるとはずれます。

4-2 コネクタを抜く

本体内部のコネクタをつまんで抜いてください。

4-3 前面パネルをはずす

(1)前面パネルを取付けている左右のツマミねじ(2本)をはずしてください。
(2)前面パネル下部を軽く手前に引いて下側に下げるとはずれます。

4-4 排気口具を取付ける

排気口具を取付ける際には、排気口具に貼付けてある「ご注意」をお読みの上取付けてください。

上方排気の場合

排気口具をトラスタッピンねじ（4×10）4本で取り付けてください。

4-5 電動シャッターを取付ける（同時給排仕様の場合）

上方排気の場合

(1)排気口に電動シャッターをトラスタッピンねじ（4×10）4本で取付けてください。
(2)本体からのコネクタを電動シャッターのコネクタに接続してください。

4-5 電動シャッターを取付ける（同時給排仕様の場合）

上方給気の場合

(1)同梱の上給気取付脚を電動シャッターにトラスタッピンねじ（4×10）4本で取付けてください。
(2)本体の取付け穴に上給気取付脚をトラスタッピンねじ（4×10）4本で取付けてください。
(3)本体からのコネクタを電動シャッターのコネクタに接続してください。

後方排気の場合

別売のエルボ（PL-150）が必要です。
(1)電動シャッターからアダプターを取り外し、間にエルボ（PL-150）を取付けてください。
(2)排気口にエルボを取付けた電動シャッターを取付けてください。
(3)本体からのコネクタを電動シャッターのコネクタに接続してください。

後方給気の場合

別売のエルボ（PL-150）が必要です。
(1)電動シャッターからアダプターを取り外し、間にエルボ（PL-150）を取付けてください。
(2)電動シャッターに上給気取付脚を取付け、本体の取付け穴にトラスタッピンねじ（4×10）4本で取付けてください。
(3)本体からのコネクタを電動シャッターのコネクタに接続してください。

5 本体を取付ける

5-1 壁取付の場合

取付面について

●木質壁の場合は、取付面の板厚は20mm以上。それ以下の場合には、壁に補強板を埋め込み補強を施してください。

●コンクリート、タイル壁の場合は、あらかじめ壁に補強板を埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用してください。

(1)仮止め穴位置にタッピングねじ（2本）の頭を5mm程度浮かせてねじ込んでください。

(2)このねじに本体を引っ掛けて押し上げながらタッピングねじ4本で固定してください。（その際、仮止め穴から抜けないように注意してください）

(3)仮止め穴のタッピングねじを増し締めしてください。

5-2 天井吊りの場合

別売のアイランドパネルが必要です。
(1)外観寸法図を参考に吊りボルトを垂らしてください。
吊りボルトはM10を用いてください。
(2)本体の天井用ノックアウト（4ヶ）を打ち抜いてください。
(3)アイランドパネルをトラスタッピンねじ（4×10）4本で取付けてください。

(4)製品下面の位置を決めて吊りボルトにM10のナットとワッシャー（取付業者手配）を差し込んでください。
(5)本体の取付け穴に吊りボルトを差し込み、下側からM10のナット、ワッシャー（取付業者手配）をしっかりと締め付けてください。

5-1 壁取付の場合

別売のアイランドパネルが必要です。
(1)外観寸法図を参考に吊りボルトを垂らしてください。
吊りボルトはM10を用いてください。
(2)本体の天井用ノックアウト（4ヶ）を打ち抜いてください。
(3)アイランドパネルをトラスタッピンねじ（4×10）4本で取付けてください。

(4)製品下面の位置を決めて吊りボルトにM10のナットとワッシャー（取付業者手配）を差し込んでください。
(5)本体の取付け穴に吊りボルトを差し込み、下側からM10のナット、ワッシャー（取付業者手配）をしっかりと締め付けてください。

5-2 天井吊りの場合

別売のアイランドパネルが必要です。
(1)外観寸法図を参考に吊りボルトを垂らしてください。
吊りボルトはM10を用いてください。
(2)本体の天井用ノックアウト（4ヶ）を打ち抜いてください。
(3)アイランドパネルをトラスタッピンねじ（4×10）4本で取付けてください。

(4)製品下面の位置を決めて吊りボルトにM10のナットとワッシャー（取付業者手配）を差し込んでください。
(5)本体の取付け穴に吊りボルトを差し込み、下側からM10のナット、ワッシャー（取付業者手配）をしっかりと締め付けてください。

6 前面パネルを取付ける

前面パネル上側のフックを掛けてください。側面のツマミねじ（2本）を穴位置に合わせて締め付けてください。